

ナノテクノロジー・材料研究開発推進
プロジェクトチームの進め方について
(案)

平成 16 年 5 月 13 日

平成 16 年 5 月 13 日

ナノテクノロジー・材料研究開発推進プロジェクトチーム の進め方について(案)

事務局

1. 検討の趣旨

- ・ 本プロジェクトチームは、2002 年 12 月別添 3 - 1 の趣旨にもとづいて重点分野専門調査会下に設置された。
- ・ 以後、同資料に記載された検討内容についての取り組みを行い、16 年度から 3 件の府省「連携プロジェクト」の実施を決定し、その実行と必要なフォローアップを図ると共に、新たなプロジェクト立ち上げの検討を進めている。
- ・ ナノテクノロジーについては、本プロジェクト立ち上げの契機となった産業発掘促進と共に、この分野においてこれまで維持してきた我が国の優位性を、今後継続して維持していくために必須である基礎研究の取り組みなどについても検討し、対処策を講じていくことも重要であると認識される。
- ・ この観点から、本プロジェクトチームの検討課題を、府省「連携プロジェクト」等の産業発掘に向けた取り組みのみに限定せず、設立時本来の趣旨を踏まえ、萌芽的、挑戦的な基礎研究も含めたナノテクノロジーの研究開発についての今後の取り組みを検討していく場として活用することとしたい。

2. 進め方

- ・ プロジェクトの専門委員構成については時機を見て、見直すこととするが、趣旨に沿った会議を進めるため、当面は有識者を招聘して、議論に参加いただくことで対処する。
- ・ 専門委員構成の見直し時期については本年度末を目途とし、併せて委員の任期についても検討する。

平成14年12月25日

ナノテクノロジー・材料研究開発推進プロジェクトチーム
の設置について

1. 趣旨

総合科学技術会議において、重点分野推進戦略専門調査会にナノテクノロジー・材料研究開発推進プロジェクトチームを設け、その研究開発および産業化推進に向けた環境整備等に関する具体的な方策について調査・検討を行う。これにより「産業発掘戦略 - 技術革新」の「ナノテクノロジー・材料戦略」で実施が位置付けられた「連携プロジェクト」の具体化を推進する。

2. 検討内容

本分野は近年、萌芽的な研究に留まらず産業化を目指した取組みが活発化しており、特に米国では中長期的研究開発の推進を行うとともに、その成果を産業化・実用化につなげる方策を強化している。

このため、現在実施中および計画中的研究開発の状況を踏まえ、その研究開発、産業化のための環境整備、人材育成等関係**府省が一体的に推進するための具体的な方策を示すとともに、国際競争力のある新たな産業の発掘が促進される領域を明らかにし、その効果的な実施を図るために必要なフォローアップを行う。**

3. 検討スケジュール

平成15年1月以降に第1回のプロジェクトチームを立ち上げ、調査・検討を行い、その内容を「平成16年度の科学技術に関する予算、人材等の資源配分方針」に反映するとともに、その実現に向けて検討を継続することとする。